

表紙のことば

花の実園

アートグループ

ちぎり絵



「有終の美」

・2021・8

・東京オリンピックが開催し、感動をたくさん貰ったのでそのなかでも印象的であった場面をちぎり絵で作成しました。

花の実園 生活介護 アートグループ

ちぎり絵の制作は、模造紙に下絵を描き、色の配色や絵具の調合を行い、1から色紙を作っています。同じような色でも変化を付ける為、作品によっては30色以上になる場合もあります。色紙作りから利用者が関わり、色を混ぜたりローラーを使って色を塗ったりしながら紙を作っています。色紙が乾くと紙をちぎることが得意な人、糊を使って貼ることが得意な人と得意を活かしながら制作しています。糊を使用している為、間違った場所に貼ってもすぐに修正でき、職員と利用者が共に考えながら行っています。

現在までの作品数：約50枚、作品サイズ横160×縦110（cm）、最大ものは横960×縦110（cm）にもなります。花の実園さくら祭りの背景や市役所で行われる福祉ふれあいまつり背景、パラリンピックの採火式の背景も制作しました。

作品は習志野市役所、谷津コミュニティセンター、谷津千潟観覧センター、新習志野公民館、総合福祉センターさくらの家に1点ずつ展示しています。また、千葉市で行われているアートフレンズ展や習志野市内での展示会でも展示しています。